

# 明治大学 vs 駒澤大学

10月12日(日)  
11:30K.O.  
味スタ西

後期5連勝と快調に勝ち星を重ねる明大。決して楽な勝ち方ばかりではないが、それでもしっかりと勝ちきる強さを持っている。前節の筑波大戦も、前半32分に先制点を奪ったものの、

「筑波大は15節に引き続き、いい試合をしていた。力があるということは分かっていた。このように苦しい展開になるのは予想していたが、予想以上に苦しくなってしまう」(栗田大輔監督)

というように後半途中で足が止まってしまう、相手に決定機を作られていた。

「もちろん運ももちろんあったとは思いますが、松藤(正伸・4年)を中心に予測の早い動きで体を張って守ってくれた。チームに元気を与えることができる選手は貴重な存在」(栗田助監督)

最後まで体を張った守備は見事のひとつ。この快進撃はどこまで続くのか!?

15節で首位の順大を1-0で撃破した駒大。前節の桐蔭大戦は打って変わったの乱打戦となったが、粘る桐蔭大を4-2で振りきった。

「粘り強く徹底してやれたことが勝因。選手が信じて徹底、団結できればまだチャンスはある」

と、秋田浩一監督も2連勝に手応えを得た様子。ただ、今後に向けては厳しい言葉も出た。

「前半は元気もなく雑。がっかりした」(秋田監督)  
立ち上がりからいかに長い時間、自分たちのサッカーをやり抜けるか。

「明大は素晴らしいチーム。われわれよりうまいので、徹底して粘ってしっかりやりたい」(秋田監督)

**出場停止:板倉直紀(駒大)警告3回:小谷光毅(明大)、伊藤慎人、平野篤志、斎藤純平(以上駒大)**

**前期の対戦:明大2-0(シュート数11-2)駒大**

明大				駒大			
6. 高橋	8. 石原	7. 平野	13. 大木				
5. 松藤	11. 藤本		3. 川岸				
18. 苅部		5. 伊藤					
1. 三浦		14. 中村	21. 積田				
	7. 差波	9. 小牟田	17. 立石				
3. 山越	10. 和泉		4. 平尾				
2. 室屋	9. 矢島	11. 小牧	16. 柳川				

# 慶應義塾大学 vs 東京国際大学

10月12日(日)  
13:50K.O.  
味スタ西

後期に入って自慢のディフェンスに陰りが見え始め、やや失点が多くなっていった慶大。それだけに前節の国士大戦は、

「ここ2試合守備がよくなかったのが、原点に戻って守備を徹底しようとしていたが、本当に集中してみんなよくやってくれたと思う」

と、須田芳正監督は選手の健闘を称えた。

「お互いに力を発揮した、いい試合だった」(須田監督)

その中で後半25分に先制点を奪っただけに、このまま勝ちきりたかったというのが本音。また、課題としているセットプレーからまたも失点してしまったが、

「1失点くらいは仕方ないと思っていたので、セットプレーで失点をしたことよりも、点を取れなかったことが反省点」(須田監督)

後半にあったPKのチャンスを失敗したのも痛かった。しっかりとした守備から、いかにゴールを奪っていくかが今後のポイントになってくる。

残留争いに巻き込まれているものの、専大、順大と上位チームを相手に引き分けており、実力を発揮している東国大。

「首位を走っている順大は、やはり個々の能力が素晴ら

しかった。前半の10分はうちも慣れなかった。しかし、その後早い時間で点が取れたのはよかった」(前田秀樹監督)

二度リードを奪ったが追いつかれ、後半35分には逆転されてしまった。ただ、以前ならこのままズルズルいってしまっていたが、44分に同点に追いついた粘りは成長の証し。また、この日、初先発した樋尾海人(1年)が2ゴールの活躍を見せたのも好材料だろう。

**警告3回:溝淵雄志(慶大)、福島遼、舛田将太郎(以上東国大)**

**前期の対戦:慶大0-2(シュート数9-7)東国大**

慶大				東国大			
14. 井上	7. 川田	28. 田山	2. 大森				
2. 久保	10. 端山		15. 舛田				
8. 山浦		8. 上船					
1. 峯		24. 樋尾	4. 加藤	21. 今野			
	18. 浅間		23. 成田				
6. 望月	9. 宮地		5. 鈴木				
11. 増田	13. 加瀬澤	22. 菅原	12. 国井				

※布陣は前節を参考にした予想メンバー

## JR東日本カップ 2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦



編集:加茂郁実 発行:(一財)関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ

### 熾烈な優勝争い、今節で首位に立つのは!?

熾烈な優勝争いが繰り広げられている「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。前節も波乱が続出した。まず、首位を走る順大。15節で駒大に0-1で敗れただけにその影響が心配されたが、結果は3-3のドローと勢いが衰えてきた感はない。逆に、東国大は勝ち切れないものの粘り強さを発揮している。順大を追う明大は11位・筑波大との一戦。緊迫したゲームとなったが、32分に先制点を奪った明大が最後まで試合を優位に進め、1-0で筑波大に辛勝。順大に勝点1ポイント差まで追った。筑波大は連勝を逃した。

後期に入って結果を出すことができない専大は、やはり不調の流経大とのゲーム。前半19分に流経大が先制点を奪ったが、後半3分に専大が同点に追いつく展開。その後、両チームともに決め手がなく1-1のドロー。お互いに今のチーム状態を象徴するようなゲームだった。

首位の順大を下して調子が出てきた駒大。前節は桐蔭大との一戦だったが、互いにアグレッシブに攻撃してシーズンゲームとなった。2-2までは常に桐蔭大が先手を取る展開だったが、最後は駒大が2ゴールを追加して4-2で桐蔭大を振りきり、2連勝を飾った。

悪天候のため10月7日に延期になった早大と中大のゲーム。優勝争いに絡

#### 得点ランキング

前澤 甲気(専大)	11点
藤本 佳希(明大)	9点
山根 視来(桐蔭大)	8点
平松 宗(国士大)	7点
佐野 翼(順大)	7点

#### アシストランキング

板倉 直紀(駒大)	6アシスト
北出 雄星(専大)	5アシスト
差波 優人(明大)	5アシスト
堀田 稜(早大)	5アシスト

むためには負けられない早大と、残留争い脱出のために必死の中大というように、ともに今後のカギを握る試合の行方は、早大が前半22分、35分にゴールを決めて2-0でシャットアウト勝ち。優勝戦線に残った。逆に、中大はかなり厳しい状況に追い込まれた。

同じ理由で10月8日に延期となった慶大と国士大の一戦。前半は両者譲らず0-0で折り返したが、後半に慶大が先制点をゲット。このまま逃げきるかと思われたが、32分に国士大が同点に追いつき、両者痛み分けとなった。

今節、明大が順大をかわして首位に立つのか、それとも順大が首位をキープするのか。また、専大や早大の行方は!? 見逃さないゲームばかりだ!

## JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	順大	明大	専大	早大	国士大	慶大	駒大	桐蔭大	流経大	東国大	筑波大	中大	勝数	敗数	総失点	得失点差	勝点		
1	順大	0△0	2△1	0△0	2△1	0●1	1△0	4△1	3△1	2△2	2△0	2△1	10	4	2	29	14	15	34
2	明大	0△0	1△1	2△1	2●3	0●2	2△0	4△1	0●1	1△0	3△1	1△1	10	3	3	27	14	13	33
3	専大	1●2	1△1	3△0	2△0	2△2	6△0	5△2	2△1	2△0	2△0	4△2	9	4	3	35	17	18	31
4	早大	0△0	1●2	0●3	3△1	2△0	3△1	0△0	1△1	2△0	1△0	2△1	9	4	3	21	12	9	31
5	国士大	1●2	3△2	0●2	1●3	0△0	2△2	1△0	2△1	1△1	3△0	2△1	7	5	4	25	19	6	26
6	慶大	1△0	2△0	2△2	0●2	0△0	2△0	3△0	0△0	0●2	1△0	2△1	7	5	4	19	15	4	26
7	駒大	0●1	0●2	0●6	1●3	2△2	0●2	3△2	3△0	1△0	4△3	2△1	8	2	6	27	30	-3	26
8	桐蔭大	1●4	1●4	2●5	0△0	0●1	0●3	2●3	2△0	3△1	1●3	1●3	5	1	10	22	34	-12	16
9	流経大	1●3	1△0	1△2	1△1	1△2	0△0	0●3	1●2	4△3	0●1	1△0	4	3	9	16	26	-10	15
10	東国大	2△2	0●1	0●2	0●2	1△1	2△0	0●1	0●2	3●4	1△1	1△0	2	6	8	18	26	-8	12
11	筑波大	0●2	1●3	0●2	0●1	0●3	0●1	3●4	1●3	1△0	1△1	0△0	2	3	11	10	25	-15	9
12	中大	1●2	1△1	2△4	1●2	1●2	1●2	1●2	3△1	0●1	0●1	0△0	2	2	12	15	32	-17	8

体育会学生のための  
リクナビ就職エージェント

成功も失敗も、自分が決める。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

# 早稲田大学 vs 桐蔭横浜大学

10月12日(日)  
11:30K.O.  
BMWス

悪天候のため、10月5日の試合が7日に延期された早大。その影響が心配されたが2-0で中大を下し、優勝争いに踏みとどまった。

「上位に残るためには、勝点3を取るしかなかった。緊張感のある、プレッシャーのかかる試合の中で、勝点3が取れてよかったと思う」(古賀聡監督)

前線からしっかりとプレッシャーをかけ続け、残留争いに必死の中大につけ入るスキを与えなかった。一方、「前半はいまひとつ、アクションの質が伴っていなかった。もう少し相手と駆け引きをして、しっかり相手を見てアクションを起こしていけば、後半のようにチャンスが広がっていったのではないかと思う」(古賀監督)という反省点もある。

「リーグ戦ではまだ桐蔭大に勝ったことがない。いつも厳しい戦いをしいられているが、今回こそは自分たちの強みで勝点3をつかみとりたい」(古賀監督)

2連勝と調子が上がってきた桐蔭大だったが、前節は駒大に2-4の敗戦を喫してしまった。

「駒大は自分たちに迷いがなく、その徹底されたサッカーに勝てなかった。いろいろな意味で相手が上回っていると思った」(八城修監督)

先制点をマークし、二度リードを奪ったが、いずれも追いつかれ逆転まで許してしまった。

「PKを取られ、同点にされたところが一つのポイントだったと思うが、そこから最低でも2-2で終わるべき試合だった。苦しい時間帯だったり、もしくは同点の拮抗した状況の中で、どれだけ粘れるかが重要なので、そこはしっかりやりたい」(八城監督)

**出場停止：土井秀徒(桐蔭大) 警告3回：金子雄祐、岡本洵(以上桐蔭大)**

**前期の対戦：早大0-0(シュート数8-8) 桐蔭大**

早大		桐蔭大	
12. 八角	8. 堀田	9. 今関	3. 石堂
4. 金沢	14. 山内	25. 鈴木	4. 古澤
	10. 近藤洋		13. 岡本
1. 松澤			21. 田中
	2. 奥山		6. 福島
3. 田中	9. 宮本	11. 石川	24. 時田
5. 新井	7. 近藤貴	14. 西巻	28. 中島

# 国士舘大学 vs 流通経済大学

10月12日(日)  
11:30K.O.  
ひたちなか

ようやく調子が上がってきた国士大だが、前節の慶大戦は1-1の引き分け。

「互いにいいものを出せたと思うが、結果は互いに満足できないゲームだった。相手はPKを外したし、われわれも決めるところを決めきれずにドローになってしまった。勝てる時もあればお互いに分けるときもあるので、次に切り替えたい」(細田三二監督)

内容に手応えはあったものの、もっとできるという気持ちがあっただけに、1-1の結果にはやや悔しさが残った。それでも、

「最後の最後までボールを動かしながら、プレーヤーも動いていくということができた。最後までやりきれたので次につながると思う」(細田監督)

と、プラス部分を強調。さらに、アグレッシブさを最大限に出して、勝点3を狙う。

総理大臣杯を制した流経大だが、後期はなかなか波に乗りきれず、前節の専大戦も1-1のドローに終わった。前半19分に先制点を奪っただけに、

「1-0のまま勝ちたかった。後半の早い時間に追いつかれてしまった。しかし、これまではそこから逆転されてしまうことが多かっただけに、よく勝点1をとれたと

も思う」(中野雄二監督)

専大にチャンスを作られることも多かったが、「守備のところでリスクを負わず、一人ひとりがチームとしてやることを徹底してやってくれた」(中野監督)一方の攻撃面では、トライすることはできないものの、そこでミスが出てしまっただけに、その部分は改善していきたい。勝点3をゲットするために、状況をしっかりと判断し、的確なプレーを実践したい。

**警告3回：海野智之(国士大)、田上大地、古波津辰希(以上流経大)**

**前期の対戦：国士大2-1(シュート数12-8) 流経大**

国士大		流経大	
2. 藤寄	10. 進藤	7. 森保	2. 湯澤
15. 附木	11. 平松		18. 今津
	8. 松本		27. 塚川
1. 小澤		6. 富田	21. 吉田
	6. 海野	16. 渡辺	25. 古波津
3. 福田	20. 山口		3. 田上
25. 中村	14. 佐々木	9. 中村	26. 藤原

# 専修大学 vs 中央大学

10月12日(日)  
13:50K.O.  
BMWス

前節の流経大戦はピッチの状況が悪かったこともあり、思うようにパスサッカーを披露できなかった専大。1-1のドローに終わってしまい、これで4試合勝ち星なし(2分2敗)という苦しい状況に置かれている。それでも、首位・順大との勝点差はわずかに3。直接対決も残っているだけに、優勝の可能性は十分にある。ここでしっかりと立て直さなければいけない。

「身体が強い相手に対して得点でき、ここ3試合に比べていい時間帯も作れた」

と、源平貴久監督も手応えを口に。一方で、「せっかく崩すことができても決めきれないから、勝点3を取れない。いい流れのときに得点することが課題」(源平監督)

なかなか勝てず自信を失いかけているが、もともと力のあるチーム。自分たちを、そしてチームメイトを信じて戦いたい。

15節終了時点で最下位に転落してしまい、後がない中大。厳しい残留争いが続いているが、悪天候のため10月7日に延期になった早大との一戦も0-2の敗戦を喫してしまった。決して悪い内容ばかりのゲームではなかった。いいリズムで試合に入ったし、可能性のある

試合だったが、勝負どころで流れを引き寄せることができなかった。

15節・国士大戦の1-5の大敗から気持ちを切り替え、必死にプレー。守備を徹底させながらゴールも狙う姿勢は出ていたが……。この状況を何とか打破したいという選手、スタッフの思いは伝わってただけに、プレッシャーに飲まれることなく、自分たちの戦いを実践していきたいところだ。

**警告3回：萩間大樹(専大)、岡崎亮平(中大)**

**前期の対戦：専大4-2(シュート数16-4) 中大**

専大		中大	
5. 小口	11. 前澤	10. 砂川	13. 高橋
15. 飯田			3. 木村
	26. 長岡		17. 飯干
1. 福島	37. 吉村	10. 仲川	38. 岩渕
	7. 北出		8. 三島
3. 萩間			21. 置田
	16. 秋元		5. 岡崎
2. 北爪	14. 佐藤	23. 翁長	6. 鴨池

# 順天堂大学 vs 筑波大学

10月12日(日)  
13:50K.O.  
ひたちなか

やや足踏み状態の順大。首位をキープしているものの、やはりプレッシャーからなのか元気がない。前節の東国大戦も3-3の引き分け。しかも、終盤に3-2とリードしながら後半44分に失点し、勝点2を失った。終盤に強い順大としてはかなり珍しいことだ。そして、なにより3失点は問題だ。

「3点も失点をしてはいけない。守備のチームなのに失点が多いことに、不満を抱いている」

と、吉村雅文監督も非常に渋い表情。それでも負けなかったところは評価できるが、やはり3失点の守備面は早急な修正が必要だろう。もちろん、ディフェンスラインだけの問題だけではなく、チーム全体としての守備の仕方、ボールの奪い方のところで原点に戻りたい。「流経大戦からの3試合で、チームとしての課題も見えてきた。優勝争いを続けるためには、ここ数試合がとても大事になってくると思うので、全精力を注いで挑みたい」(吉村監督)

好調の明大を相手に善戦したものの、結果は0-1の敗戦となってしまった筑波大。

「非常に悔しい結果だ。今、筑波大が求めていることは結果だけだ。内容で惜しいといわれる試合はやってきて

いて、結果として勝点を得られるようなゲームをすることに取り組んできた中で、結果を得られなかったことは何より残念」(小井土正亮ヘッドコーチ)

ピッチ状況が悪かったが、ひるまずにつなぐ筑波大のスタイルを徹底。しかし、そこでゴールを奪うことができなかった。あくまでも結果にこだわるだけに、首位の順大を相手にも勝点3しか頭にない。筑波大らしく戦い、強い意志を持ってプレーするだけだ。

**警告3回：佐野翼(順大)、西村洋平、車屋紳太郎(以上筑波大)**

**前期の対戦：順大2-0(シュート数10-5) 筑波大**

順大		筑波大	
2. 友澤	19. 野田	28. 吉川	6. 片岡
13. 宮本			8. 早川
	7. 内山		13. 齋藤
21. 大畑	9. 佐野	17. 中野誠	1. 岩脇
	10. 長谷川竜	10. 中野嘉	
	6. 長谷川涼		18. 三宅
23. 松島			5. 西村
3. 吉永	17. 小島	7. 車屋	3. 三丸

※布陣は前節を参考にした予想メンバー